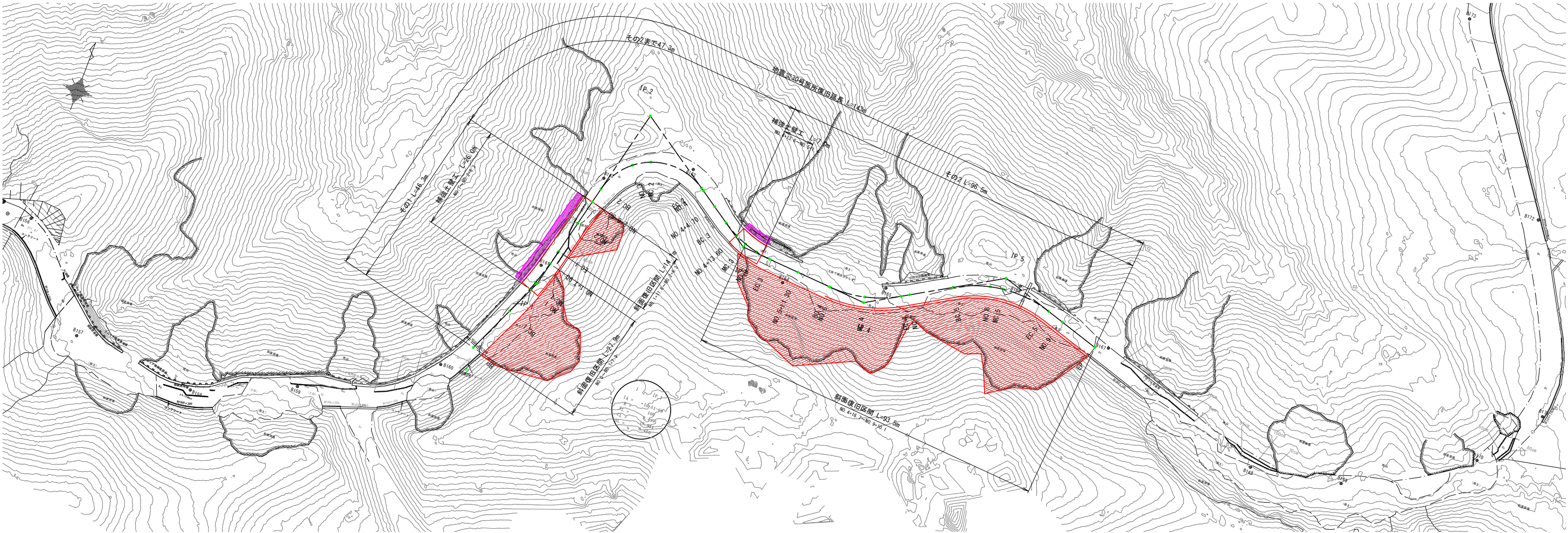


平面図・標準断面図(1/1)

30号箇所

S=1:500

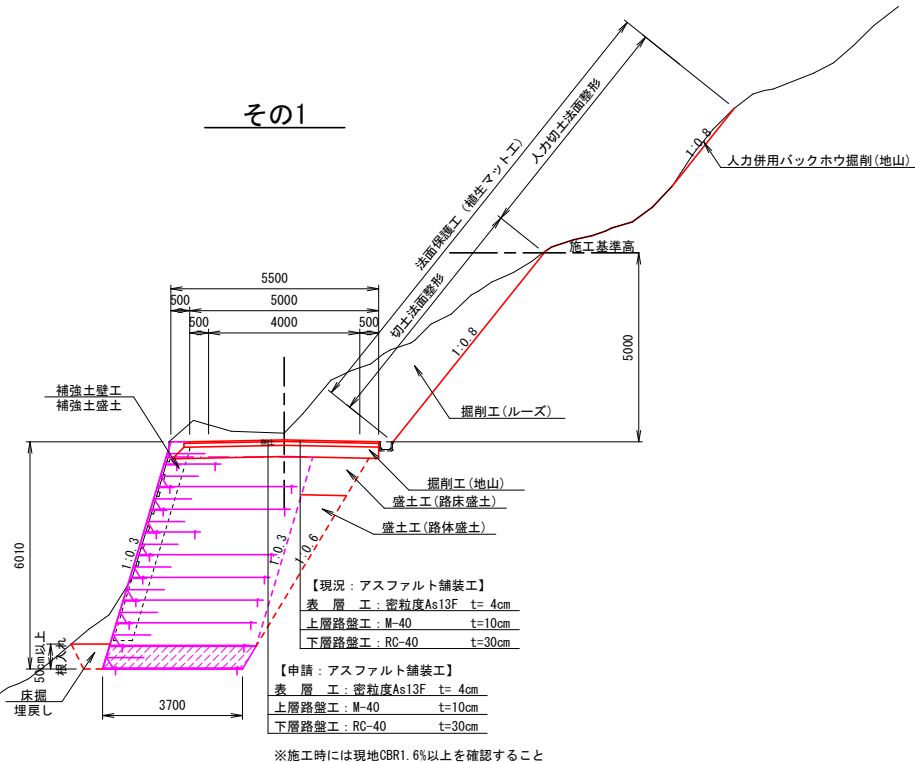


・その2の増破によりその3と接続されたため、その3は欠番とした。

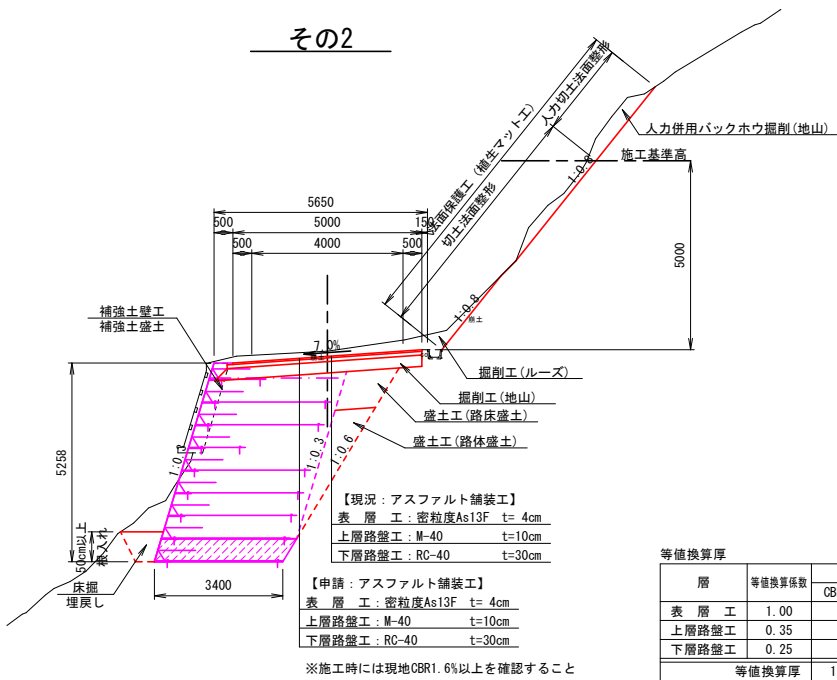
標準断面図

S=1:100

その1



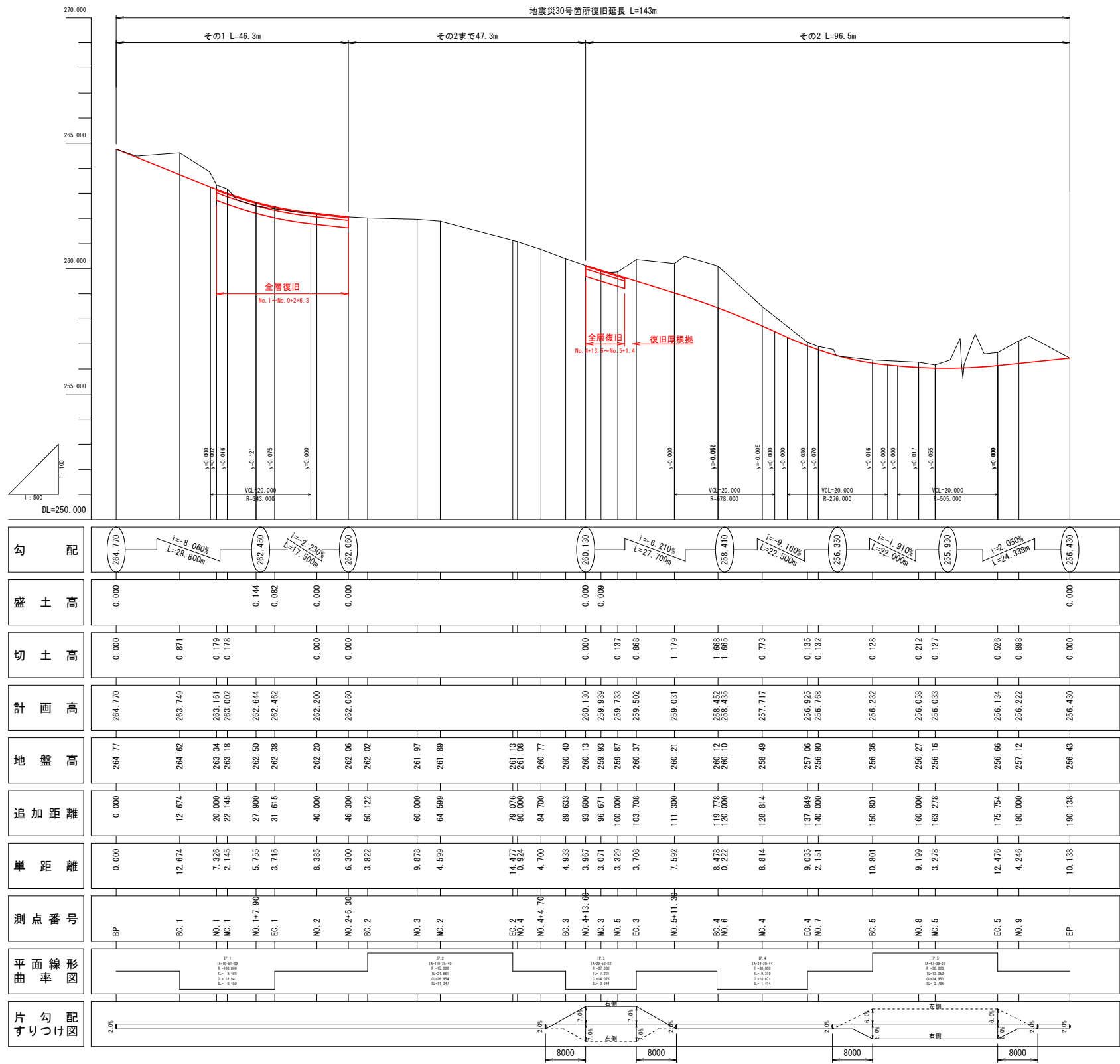
その2



層	等価換算係数	舗装厚 (cm)		
		CBR1.6	針面	CBR2
表層工	1.00	4	4	4
上層路盤工	0.35	7	10	7
下層路盤工	0.25	39	30	29
等価換算厚		16.2	15.0	13.7

路線名	林道サビヤ山線	事業名	林道施設災害(令和6年災)復旧	事業
林道区分	奥地	級別区分	自動車道1級	設計速度
年度	令和6年度	施行主体	輪島市	
名称	平面図・標準断面図			1葉中 1番
施行地	石川県輪島市門前町浦上	地内		
縮尺	1:500	図面番号	1/14	審査者
				設計者

縦断図（1 / 1）



※注【その1】
・ No. 1～No. 0+2+6.3間は床掘影響範囲（全幅）を全層復旧とした。

※注【その2】
・ No. 4+13.6～No. 5+1.4間は床掘影響範囲（全幅）を全層復旧とした。

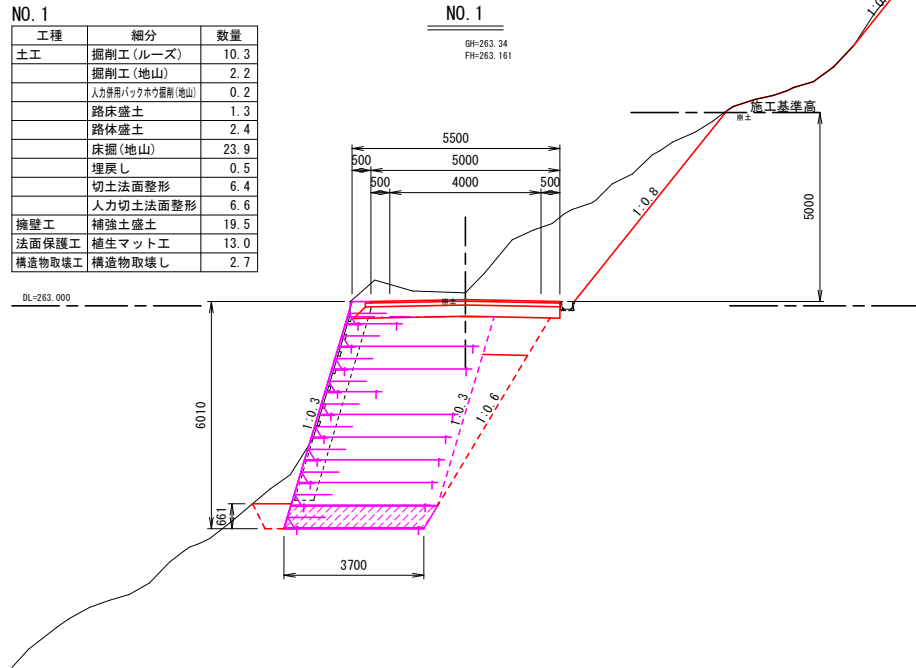
※本図の標高は測地成果2011である。

30号箇所					
路線名	林道 サビヤ山線	事業名	林道施設災害 (令和6年災)復旧		事業
林道区分	奥地	級別区分	自動車道 1級	設計速度	20km/h
年度	令和7年度		施行主体	輪島市	
名称	縦断図			1葉中 1番	
施行地	石川県輪島市門前町浦上 地内				
縮尺	図面	2 / 14	審査者	設計者	
図示	番号				

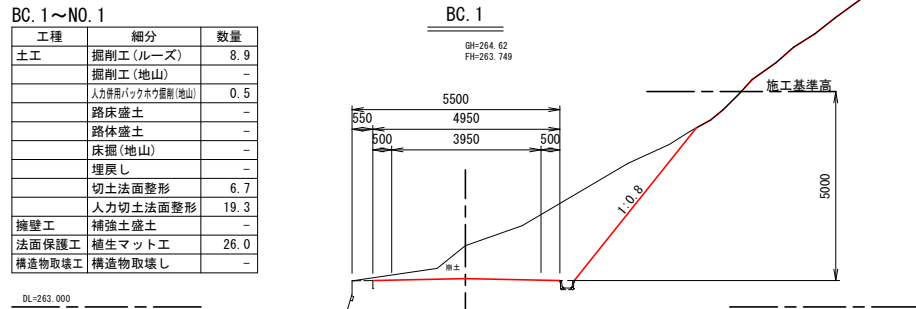
その1横断図(1/1)

S=1:100

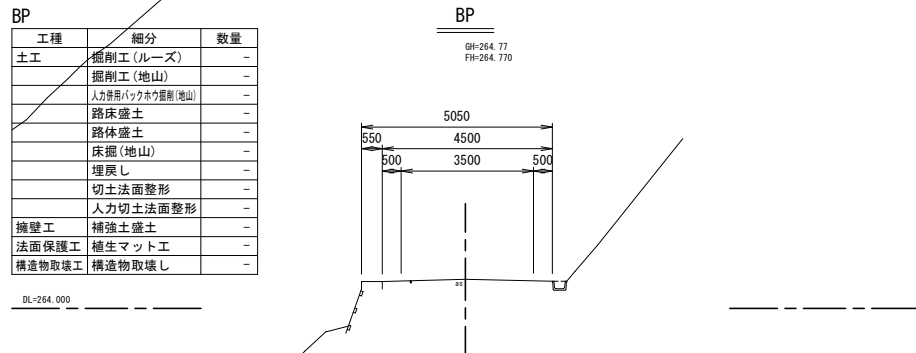
NO. 1		
工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	10.3
	掘削工(地山)	2.2
	人カ使用バックホウ掘削(地山)	0.2
	路床盛土	1.3
	路体盛土	2.4
	床掘(地山)	23.9
	埋戻し	0.5
擁壁工	切土法面整形	6.4
	人カ切土法面整形	6.6
	補強土盛土	19.5
法面保護工	植生マット工	13.0
構造物取壊工	構造物取壊し	2.7



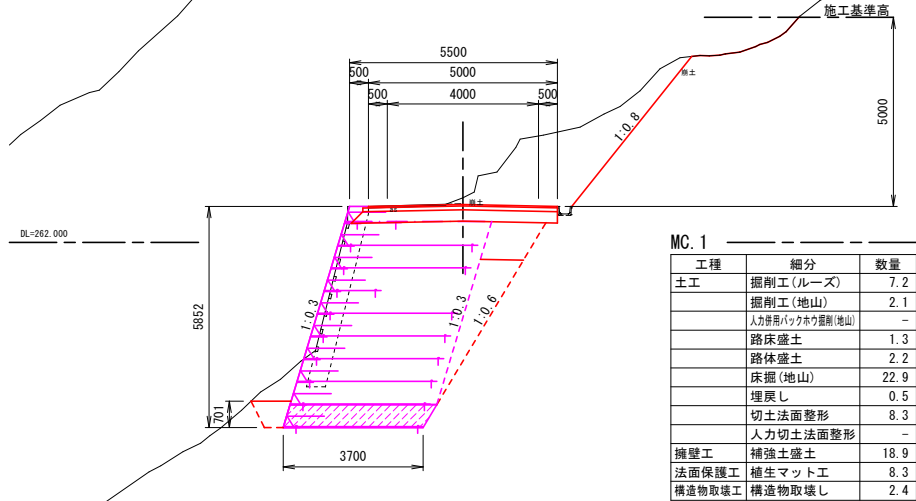
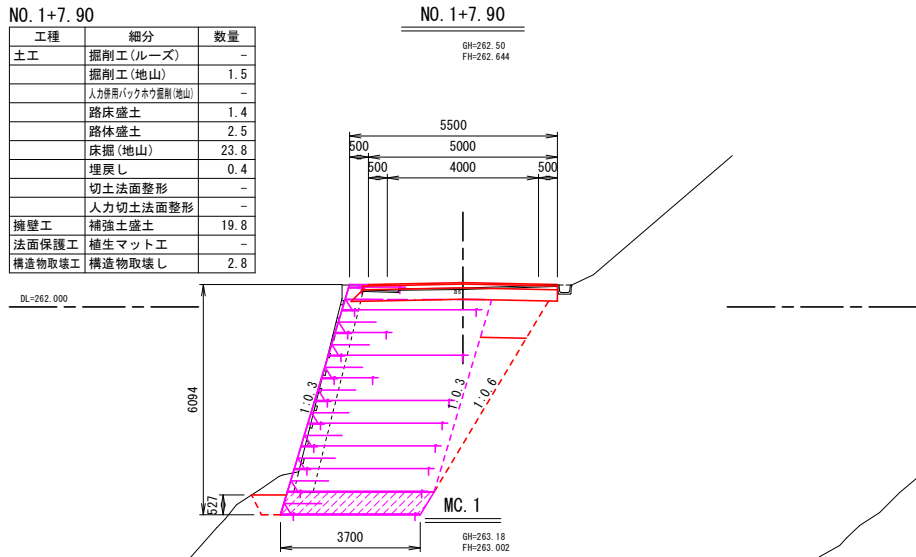
BC. 1～NO. 1		
工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	8.9
	掘削工(地山)	-
	人カ使用バックホウ掘削(地山)	0.5
	路床盛土	-
	路体盛土	-
	床掘(地山)	-
	埋戻し	-
擁壁工	切土法面整形	6.7
	人カ切土法面整形	19.3
	補強土盛土	-
法面保護工	植生マット工	26.0
構造物取壊工	構造物取壊し	-



BP		
工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	-
	掘削工(地山)	-
	人カ使用バックホウ掘削(地山)	-
	路床盛土	-
	路体盛土	-
	床掘(地山)	-
	埋戻し	-
擁壁工	切土法面整形	-
	人カ切土法面整形	-
	補強土盛土	-
法面保護工	植生マット工	-
構造物取壊工	構造物取壊し	-

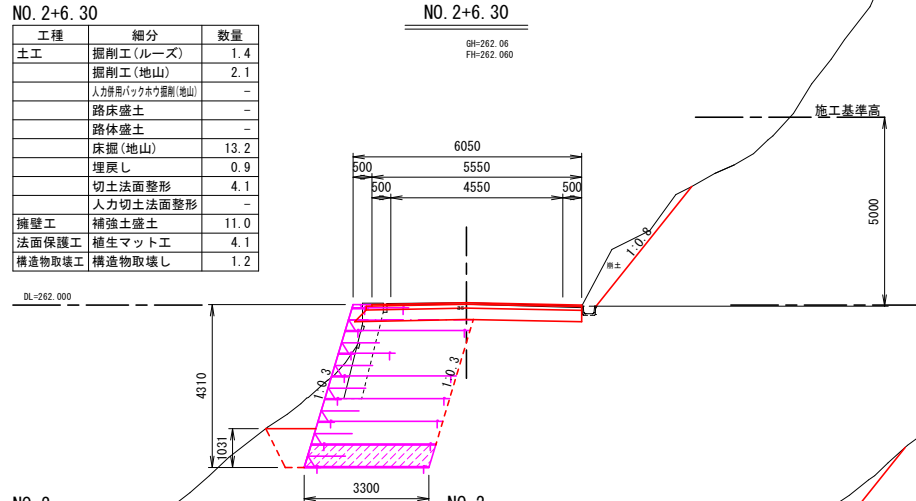


NO. 1+7. 90		
工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	-
	掘削工(地山)	1.5
	人カ使用バックホウ掘削(地山)	-
	路床盛土	1.4
	路体盛土	2.5
	床掘(地山)	23.8
	埋戻し	0.4
擁壁工	切土法面整形	-
	人カ切土法面整形	-
	補強土盛土	19.8
法面保護工	植生マット工	-
構造物取壊工	構造物取壊し	2.8

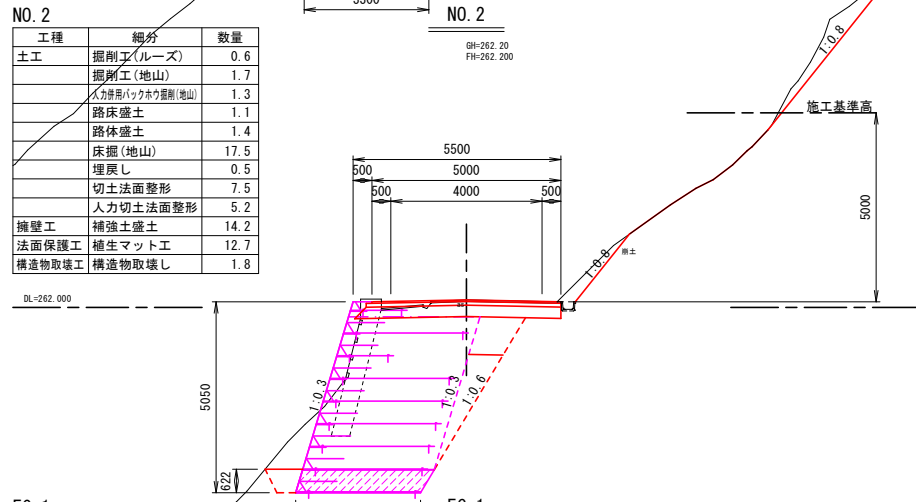


MC. 1		
工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	7.2
	掘削工(地山)	2.1
	人カ使用バックホウ掘削(地山)	-
	路床盛土	1.3
	路体盛土	2.2
	床掘(地山)	22.9
	埋戻し	0.5
擁壁工	切土法面整形	8.3
	人カ切土法面整形	-
	補強土盛土	18.9
法面保護工	植生マット工	8.3
構造物取壊工	構造物取壊し	2.4

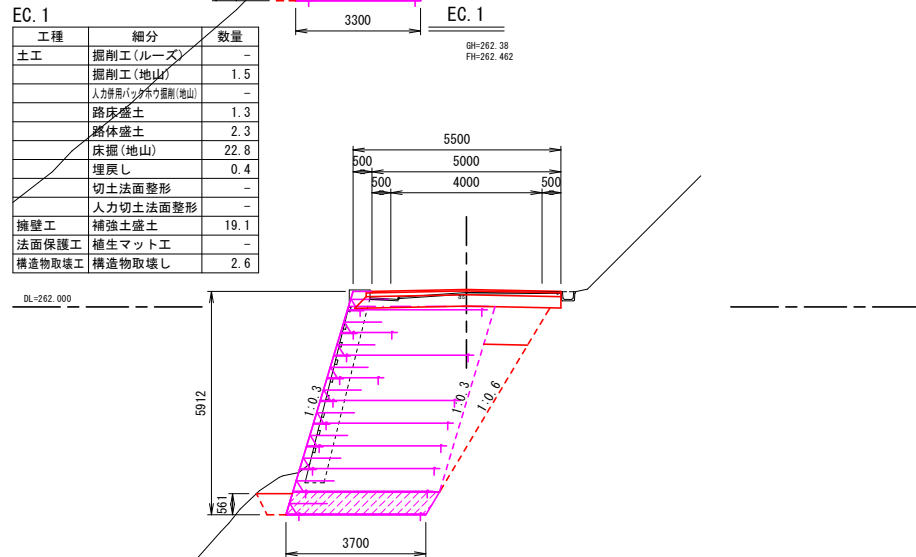
NO. 2+6. 30		
工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	1.4
	掘削工(地山)	2.1
	人カ使用バックホウ掘削(地山)	-
	路床盛土	-
	路体盛土	-
	床掘(地山)	13.2
	埋戻し	0.9
擁壁工	切土法面整形	4.1
	人カ切土法面整形	-
	補強土盛土	11.0
法面保護工	植生マット工	4.1
構造物取壊工	構造物取壊し	1.2



NO. 2		
工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	0.6
	掘削工(地山)	1.7
	人カ使用バックホウ掘削(地山)	1.3
	路床盛土	1.1
	路体盛土	1.4
	床掘(地山)	17.5
	埋戻し	0.5
擁壁工	切土法面整形	7.5
	人カ切土法面整形	5.2
	補強土盛土	14.2
法面保護工	植生マット工	12.7
構造物取壊工	構造物取壊し	1.8



EC. 1		
工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	-
	掘削工(地山)	1.5
	人カ使用バックホウ掘削(地山)	-
	路床盛土	1.3
	路体盛土	2.3
	床掘(地山)	22.8
	埋戻し	0.4
擁壁工	切土法面整形	-
	人カ切土法面整形	-
	補強土盛土	19.1
法面保護工	植生マット工	-
構造物取壊工	構造物取壊し	2.6



※注
・No. 1～No. 0+2+6. 3間は床掘影響範囲(全幅)を全層復旧とした。

30号箇所

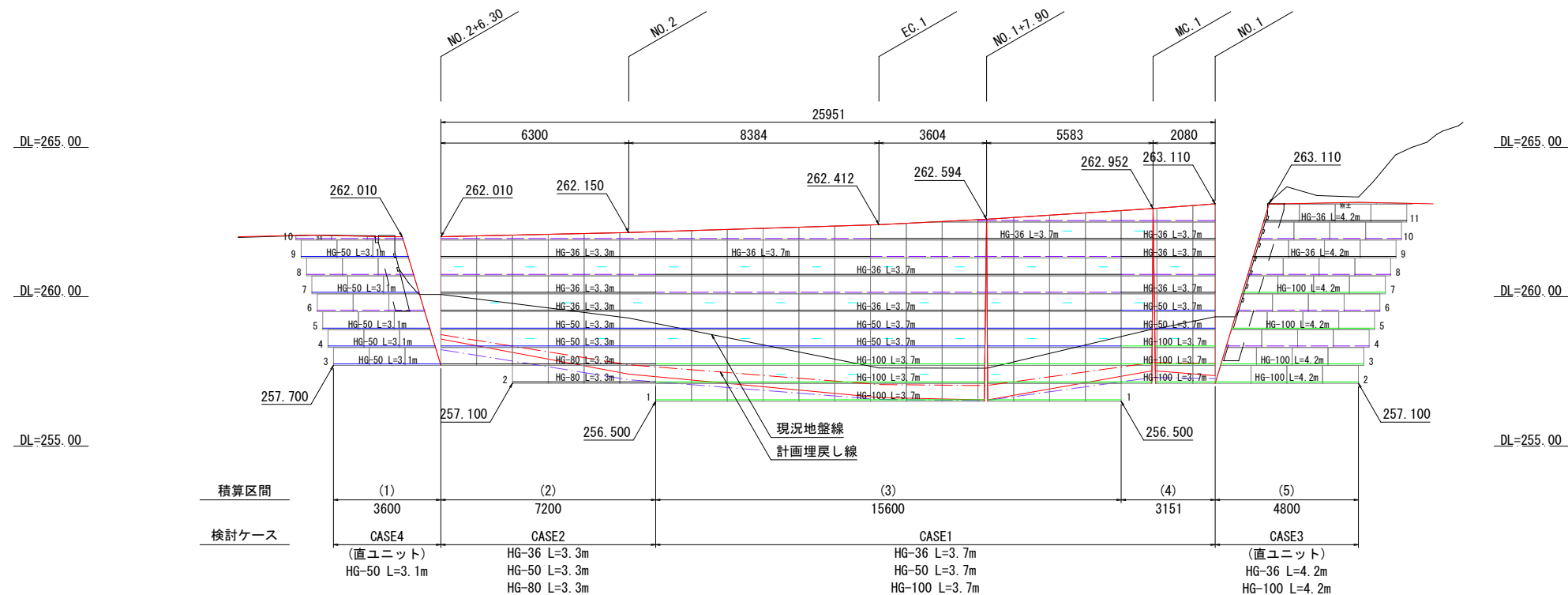
路線名	林道 サビヤ山線	事業名	林道施設災害 (令和6年災)復旧	事業	林道
林道区分	奥地	級別区分	自動車道 1級	設計速度	20km/h
年度	令和7年度	施行主体	輪島市		
名称	その1横断図 1葉中 1番				
施行地	石川県輪島市門前町浦上	地内			
縮尺	1:100	図面番号	3/14	審査者	設計者

※本図の標高は測地成果2011である。

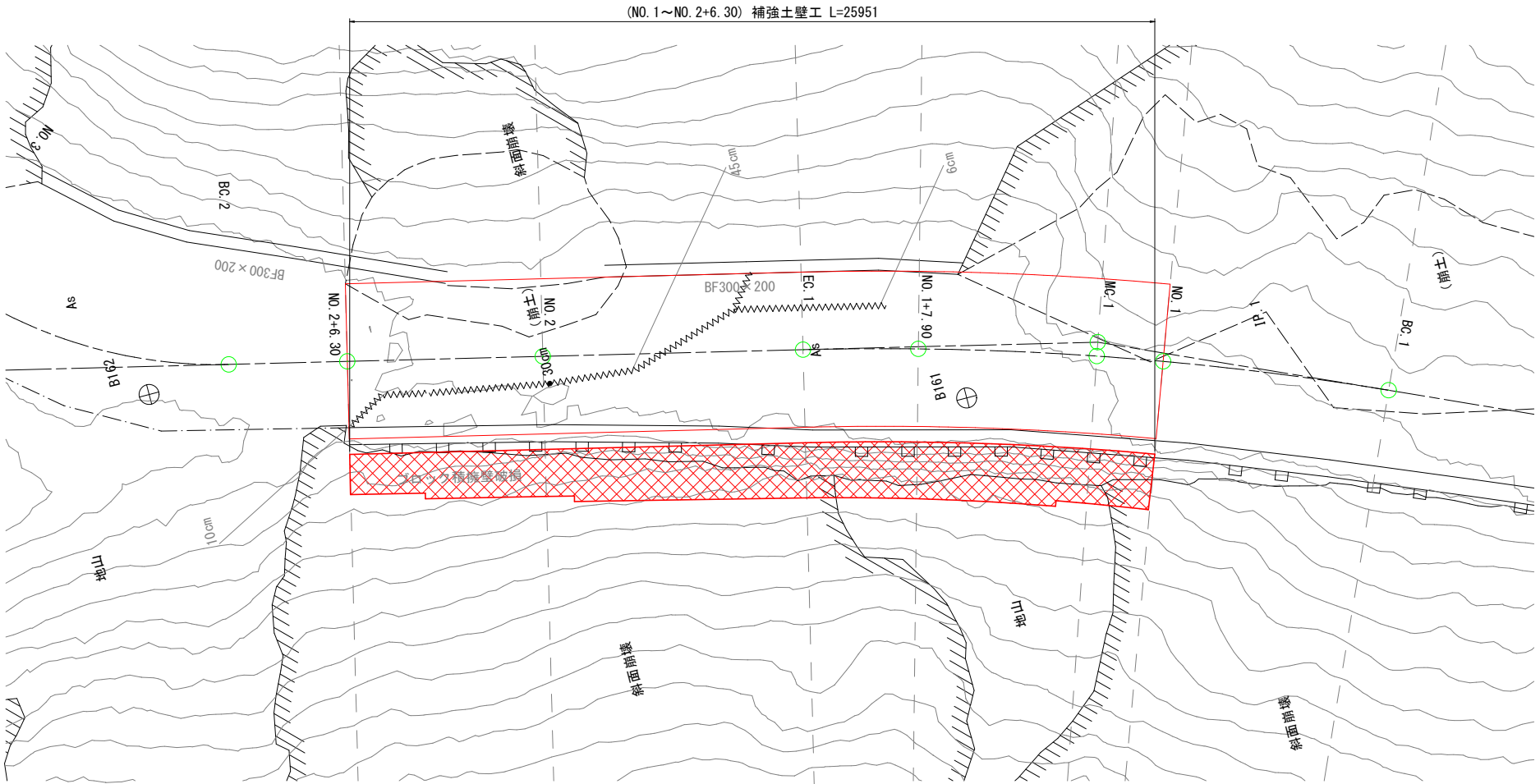
その1補強土壁工構造図(1/2)

S=1:100

展開図



平面図



材 料 表						
凡 例	名 称	規格寸法	単位	材 質	寸法・形状	特 記 事 項
	主補強材	HG-36	m ²	芯材：アラミド繊維 表面材：高密度ポリエチレン	部材詳細図参照	伸度4.5%
		HG-50	m ²			
		HG-80	m ²			
		HG-100	m ²			
	壁面強化材	UC-20	m ²			
	鋼製枠(ユニット)	UC-60P	set		部材詳細図参照	
	水平排水材	R-7×300C	m		W=300	

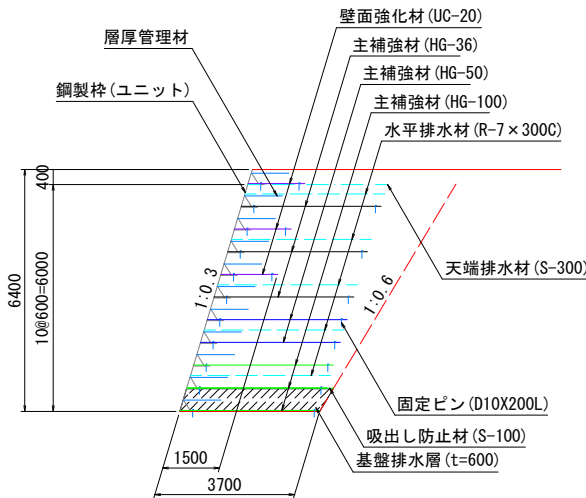
30号箇所					
路線名	林道 サビヤ山線	事業名	林道施設災害 (令和6年災)復旧		事業
林道区分	奥 地	級別区分	自動車道 1級	設計速度	20km/h
年 度	令和7年度		施行主体	輪 島 市	
名 称	その1補強土壁工構造図			2葉中 1番	
施行地	石川県輪島市門前町浦上 地内				
縮 尺	図面	4 ／ 番号	審 査 者 4 14	設 計 者	
1:100					

その1補強土壁工構造図(2/2)

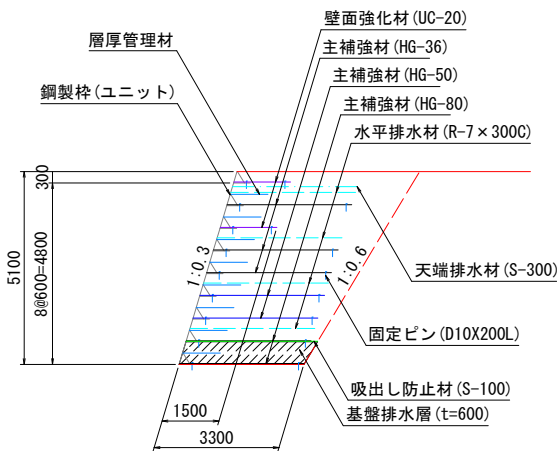
S=1:100

標準断面図

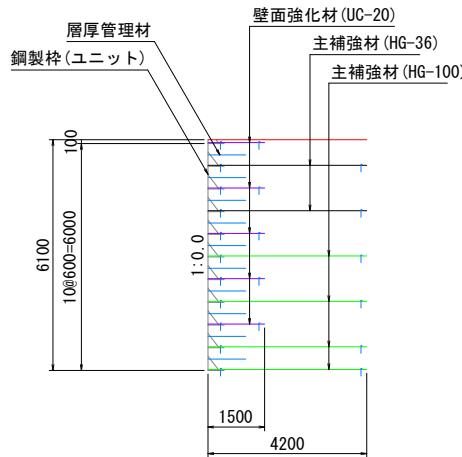
CASE1



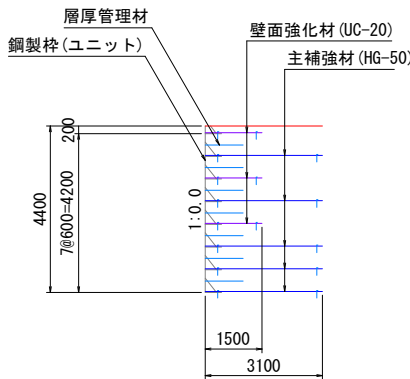
CASE2



CASE3



CASE4



設計条件

盛土材定数	$\gamma=19.0\text{kN/m}^3$ $\phi=30^\circ$ $C=0.0\text{kN/m}^2$	
載荷重	活荷重 $q=10\text{kN/m}^2$	
設計水平震度	-	
円弧すべりに対する安全率	常時	-
	$F_s \geq 1.20$	-
引き抜きに対する安全率	$F_s \geq 2.00$	-
転倒に対しての安全率	$e \leq L/6$	-
滑動に対しての安全率	$F_s \geq 1.50$	-
支持に対しての安全率	$F_s \geq 3.00$	-

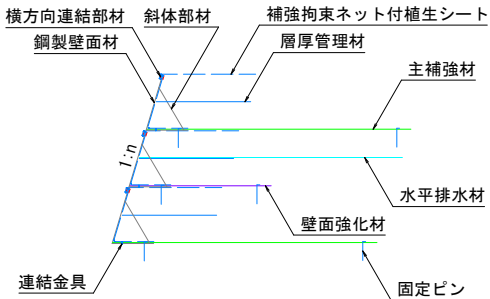
必要地耐力

タイプ	検討高	単位	常時	地震時	摘要
CASE1	H=6.4m	kN/m^2	135.468	-	盛土直下
CASE2	H=5.1m	kN/m^2	109.883	-	盛土直下
CASE3	H=6.1m	kN/m^2	128.403	-	盛土直下
CASE4	H=4.4m	kN/m^2	92.413	-	盛土直下

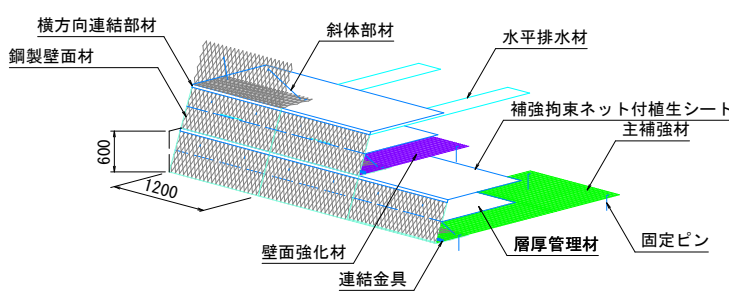
特記事項

補強土壁工	面状補強材（ジオテキスタイル）を層状に敷設し、補強材の引張力と土との摩擦抵抗力によってせん断強さを補強し、安定した盛土構造物を構築する			
盛土材料	土質条件	単位体積重量	粘着力	せん断抵抗角
		$\gamma=19.0\text{kN/m}^3$	$c=0.0\text{kN/m}^2$	$\phi=30.0^\circ$
・施工前に盛土材の土質試験を実施し、設計定数を確認する ・発注機関の定める規定値に従い、締固め管理を行う ・盛土材料は適切な含水比とする ・設計段階では現地発生土を流用しているが、土質条件に沿わない場合は発注者と協議のうえ対応を検討すること				
基礎地盤	・良好な地盤又は適切な処置が施された地盤とする ・床掘り完了後に所定の支持力を満足するか確認する			
排水工	・適切な排水処理を施す ・予期せぬ湧水が確認された場合は速やかに排水対策を行う ・施工中は仮排水工を設けるなどして、盛土本体や壁面部へ水を導かないよう排水処理を行う ・補強土壁の底盤は排水対策を施す			
壁面材	・鋼製壁面材は、盛土材を拘束し所定の締固め度が得られる十分な剛性（断面係数：0.8cm ³ /m以上）を有すること ・壁面材の座屈や回転等を防止するため、斜体部材、横方向部材および回転防止部材を用いた構造とする			
補強材	・主補強材は（財）土木研究センターの建設技術審査証明報告書を有する製品とする ・主補強材は、4.5%程度の伸度で所定の引張強さを発現する面状の材料とする ・礫材等による主補強材の耐衝撃性は、90%以上の強度保持率を有する材料とする ・隣接する主補強材の敷設は、突合せを基本とする（ラップする必要は無い） ・曲線部や折れ部において、隣接する主補強材間の隙間が10cm程度以上となった場合は、同質・同等の材料にて隙間を埋める			
安全管理	・労働安全衛生法および労働安全衛生規則などに遵守する			

壁面部詳細図



のり面詳細図



概念図

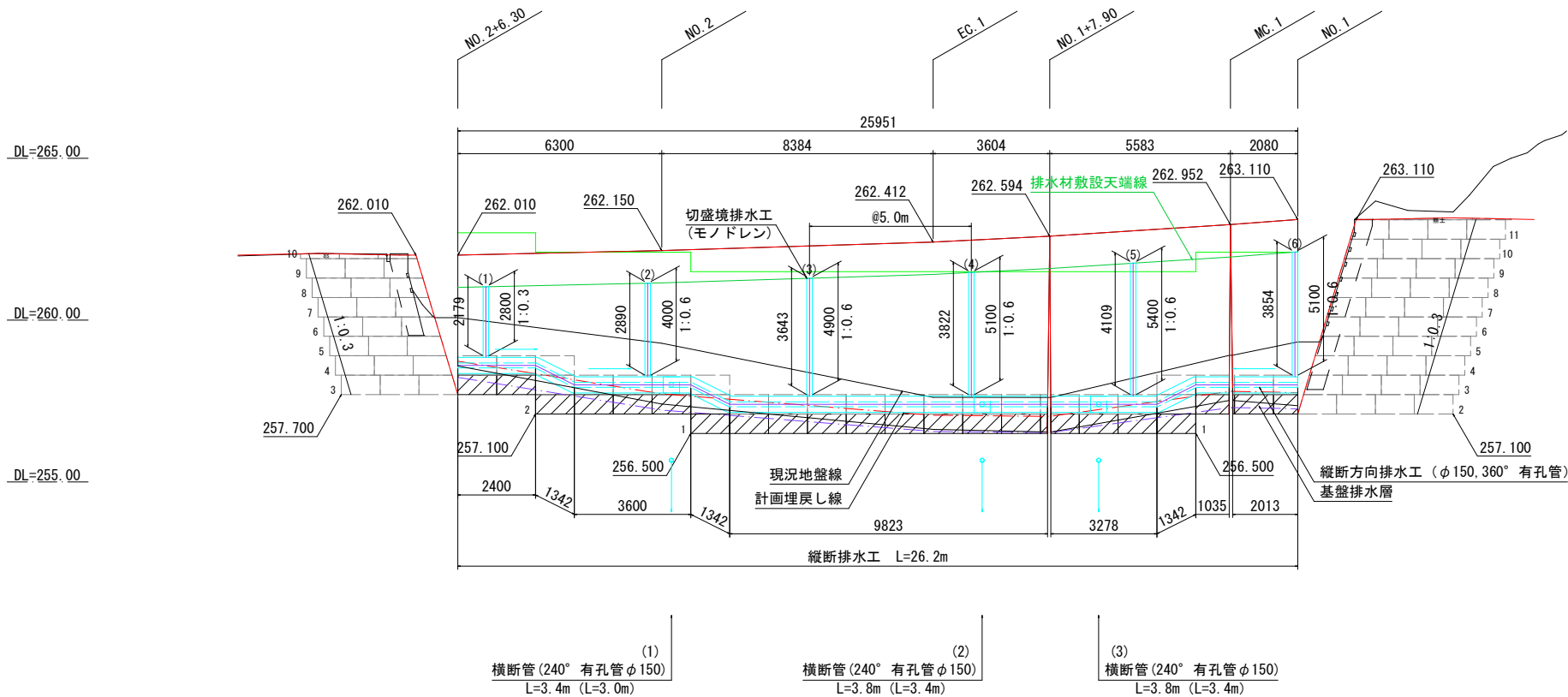
30号箇所					
路線名	林道サビヤ山線	事業名	林道施設災害(令和6年災)復旧	事業	
林道区分	奥地	級別区分	自動車道1級	設計速度	20km/h
年度	令和7年度	施行主体	輪島市		
名称	その1補強土壁工構造図 2葉中 2番				
施行地	石川県輪島市門町浦上	地内			
縮尺	5/14	審査者		設計者	
1:100	番号				

その1補強土壁工排水計画図(1/1)

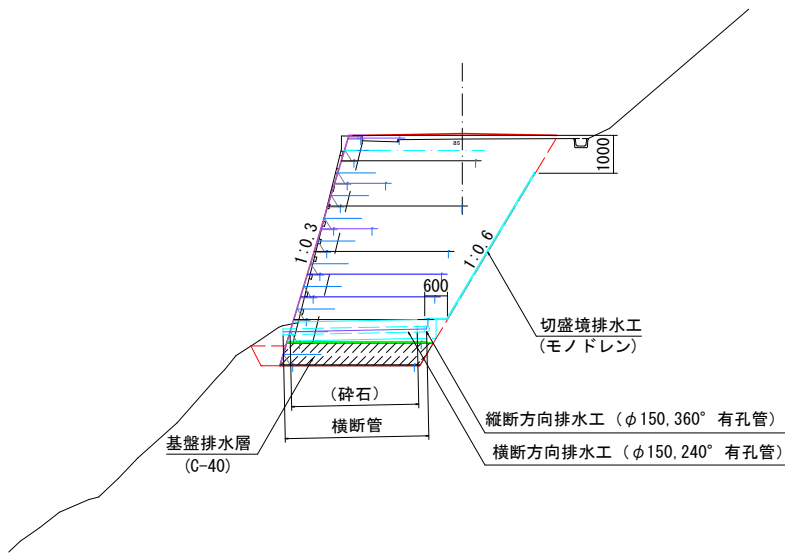
S=1:100

横断管長さ根拠図 縮尺 1:100

正面図

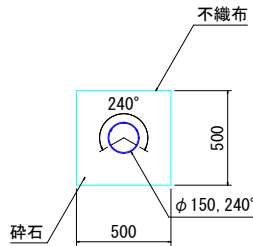


標準断面図

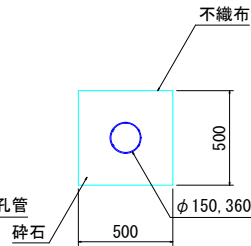


排水工詳細図

横断方向排水工 S=1:20

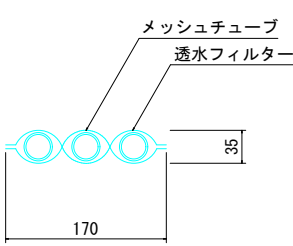


縦断方向排水工 S=1:20



切盛境排水工 S=1:4

(モノドレンM-3)



地下排水工数量表

工種	種別	規格寸法	単位
切盛境排水	パイプ状排水材	t35×W170mm	m
	有孔管 (縦断管)	φ=150 360° 有孔	m
縦断・横断 方向排水	有孔管 (横断管)	φ=150 240° 又は120° 有孔	m
	不織布		m ²
	砕石		m ³

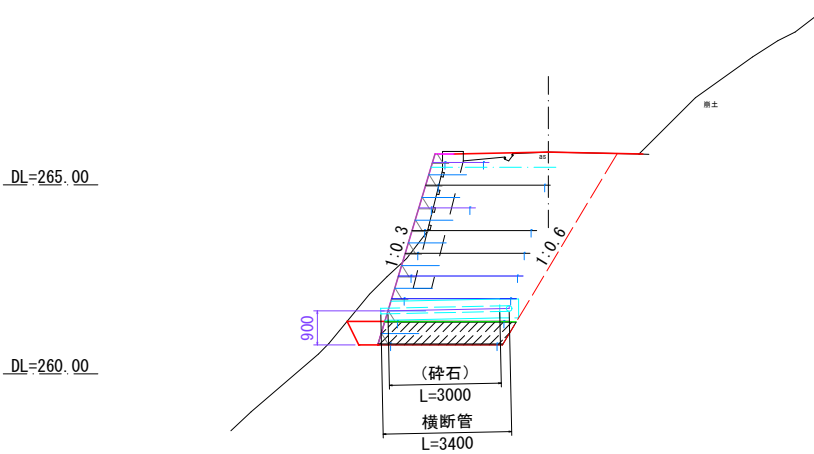
t: 厚み (mm), φ: 直径 (mm), W: 幅 (mm)

特記事項

- は、縦断管勾配方向を、
は、横断管排出位置を示す
- 補強土壁の最深部には、横断方向排水工を2箇所設置する
- 切盛境には排水材 (モノドレン) を5m間隔で設置する
- 切盛境排水工の設置間隔は 5mとするが、地山の湧水状況に応じて決定する
- 補強土壁天端には盛土内への水の浸入を防ぐためのシールコンクリートや排水溝を設ける

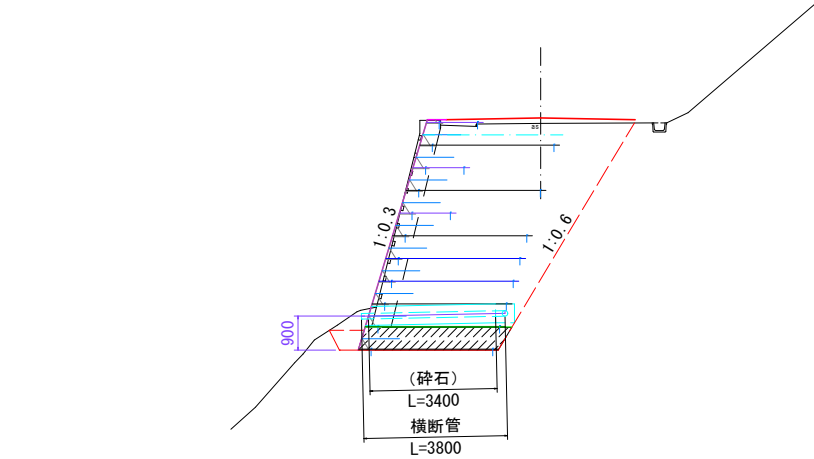
(1)

CASE2



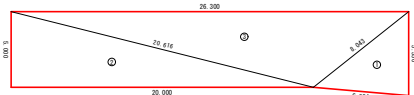
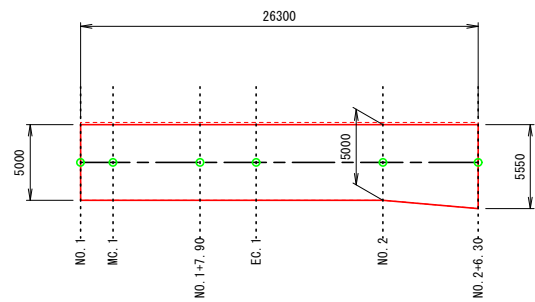
(2)(3)

CASE1



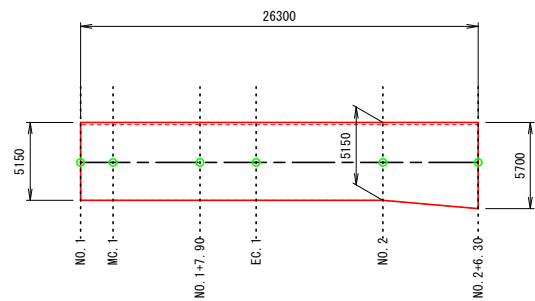
その1舗装工展開図(1/1)

表層工
30号箇所その1



符号	辺A(下底)	辺B(高さ)	辺C(上底)	角度	ヘロン面積
1	8.043	6.324	5.550	-	17.4825911
2	20.616	5.000	20.000	-	49.9999998
3	26.300	20.616	8.043	-	65.7559772
合計面積 (m2)					133.2385681

上層路盤工・下層路盤工
30号箇所その1



符号	辺A(下底)	辺B(高さ)	辺C(上底)	角度	ヘロン面積
1	8.137	6.324	5.700	-	17.9550595
2	20.652	5.150	20.000	-	51.4999998
3	26.300	20.652	8.137	-	67.7154988
合計面積 (m2)					137.1705581

30号箇所

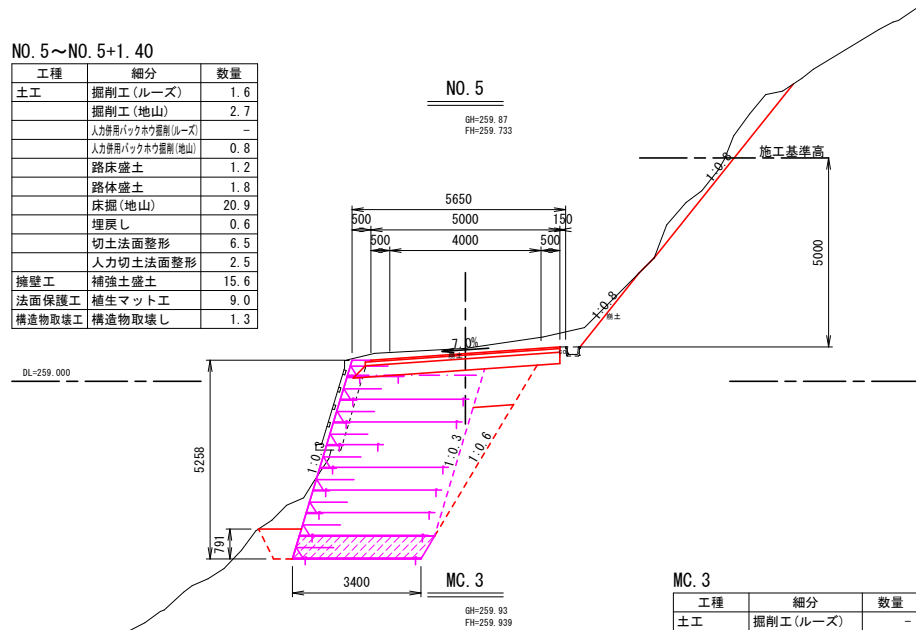
路線名	林道 サビヤ山線	事業名	林道施設災害 (令和6年災)復旧	事業	事業
林道区分	奥地	級別区分	自動車道 1級	設計速度	20km/h
年度	令和7年度	施行主体	輪島市		
名称	その1舗装工展開図 1葉中 1番				
施行地	石川県輪島市門前町浦上 地内				
縮尺	1:250	図面番号	7/14	審査者	設計者

その2横断図(1/3)

S=1:100

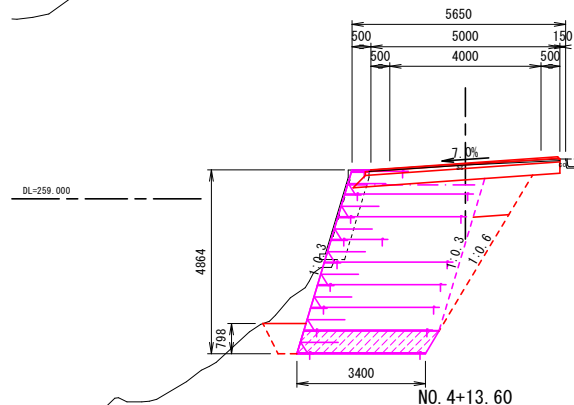
NO. 5~NO. 5+1.40

工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	1.6
	掘削工(地山)	2.7
	人かき用バックホウ掘削(ルーズ)	-
	人かき用バックホウ掘削(地山)	0.8
路床盛土	路床盛土	1.2
	路体盛土	1.8
	床掘(地山)	20.9
	埋戻し	0.6
擁壁工	切土法面整形	6.5
	人力切土法面整形	2.5
法面保護工	補強土盛土	15.6
	植生マット工	9.0
構造物取壊工	構造物取壊し	1.3



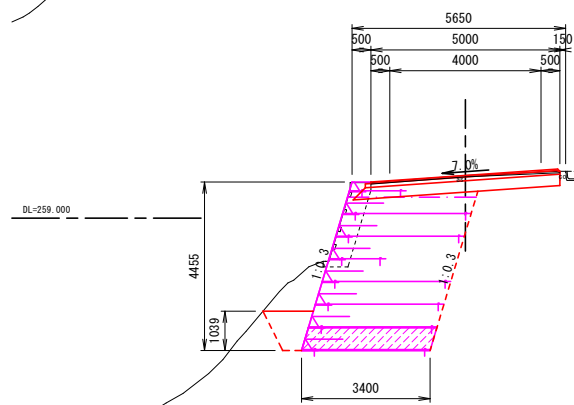
MC. 3

工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	-
	掘削工(地山)	1.9
	人かき用バックホウ掘削(ルーズ)	-
	人かき用バックホウ掘削(地山)	-
路床盛土	路床盛土	1.1
	路体盛土	1.4
	床掘(地山)	19.0
	埋戻し	0.7
擁壁工	切土法面整形	-
	人力切土法面整形	-
法面保護工	補強土盛土	14.1
	植生マット工	-
構造物取壊工	構造物取壊し	1.3



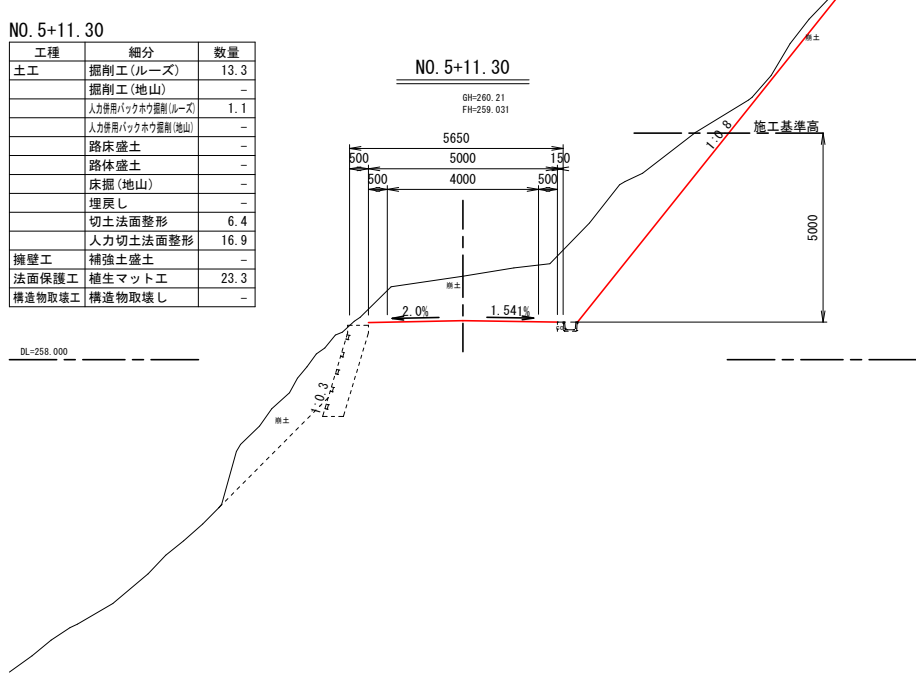
NO. 4+13.60

工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	-
	掘削工(地山)	1.9
	人かき用バックホウ掘削(ルーズ)	-
	人かき用バックホウ掘削(地山)	-
路床盛土	路床盛土	-
	路体盛土	-
	床掘(地山)	15.0
	埋戻し	1.0
擁壁工	切土法面整形	-
	人力切土法面整形	-
法面保護工	補強土盛土	12.0
	植生マット工	-
構造物取壊工	構造物取壊し	1.2



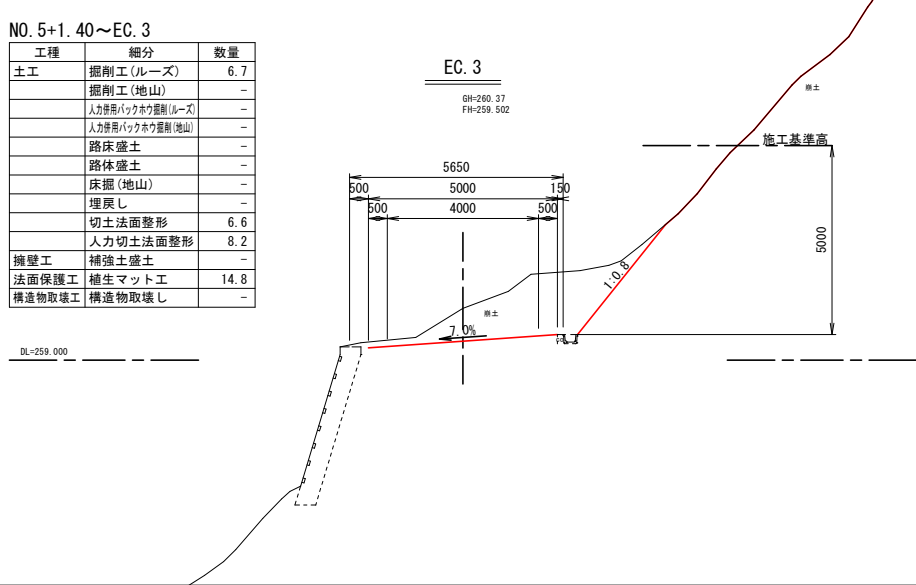
NO. 5+11.30

工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	13.3
	掘削工(地山)	-
	人かき用バックホウ掘削(ルーズ)	1.1
	人かき用バックホウ掘削(地山)	-
路床盛土	路床盛土	-
	路体盛土	-
	床掘(地山)	-
	埋戻し	-
擁壁工	切土法面整形	6.4
	人力切土法面整形	16.9
法面保護工	補強土盛土	-
	植生マット工	23.3
構造物取壊工	構造物取壊し	-



NO. 5+1.40~EC. 3

工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	6.7
	掘削工(地山)	-
	人かき用バックホウ掘削(ルーズ)	-
	人かき用バックホウ掘削(地山)	-
路床盛土	路床盛土	-
	路体盛土	-
	床掘(地山)	-
	埋戻し	-
擁壁工	切土法面整形	6.6
	人力切土法面整形	8.2
法面保護工	補強土盛土	-
	植生マット工	14.8
構造物取壊工	構造物取壊し	-



※注
・No. 4+13.6~No. 5+1.4間は床掘影響範囲(全幅)を全層復旧とした。

30号箇所

路線名	林道 サビヤ山線	事業名	林道施設災害 (令和6年災)復旧	事業	自動車道 1線
林道区分	奥地	級別区分	設計速度 20km/h	設計速度	20km/h
年度	令和7年度	施行主体	輪島市	施行主体	輪島市
名称	その2横断図 3葉中 1番				
施行地	石川県輪島市門前町浦上 地内				
縮尺	1:100	図面番号	8/14	審査者	設計者

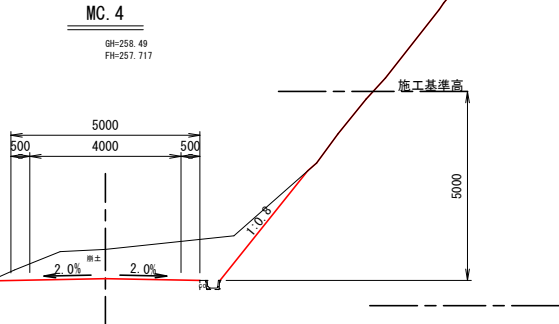
※本図の標高は測地成果2011である。

その2横断図(2/3)

S=1:100

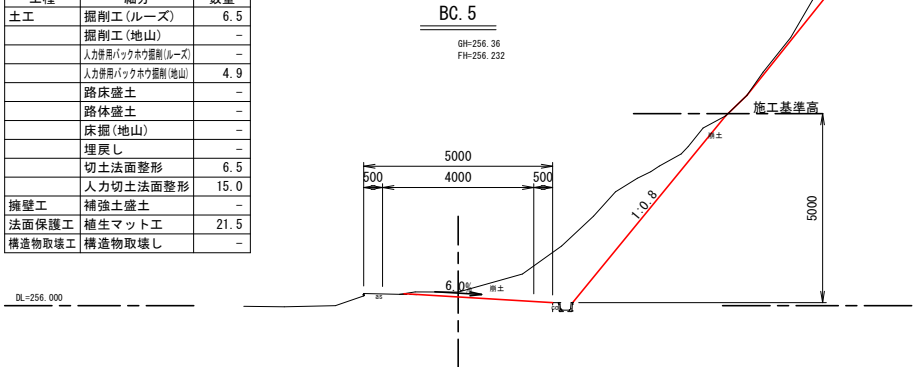
MC. 4

工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	5.6
	掘削工(地山)	-
	人カ形用バックホウ掘削(ルーズ)	-
	人カ形用バックホウ掘削(地山)	-
	路床盛土	-
	路体盛土	-
	床掘(地山)	-
	埋戻し	-
	切土法面整形	6.4
	人カ切土法面整形	12.5
擁壁工	補強土盛土	-
法面保護工	植生マット工	18.9
構造物取壊工	構造物取壊し	-



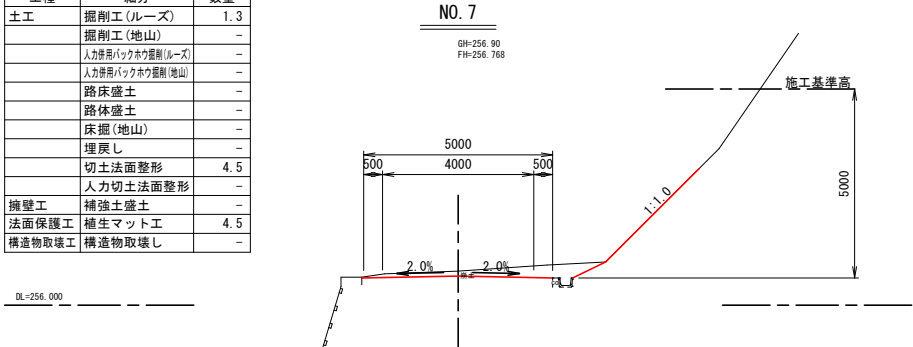
BC. 5

工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	6.5
	掘削工(地山)	-
	人カ形用バックホウ掘削(ルーズ)	-
	人カ形用バックホウ掘削(地山)	4.9
	路床盛土	-
	路体盛土	-
	床掘(地山)	-
	埋戻し	-
	切土法面整形	6.5
	人カ切土法面整形	15.0
擁壁工	補強土盛土	-
法面保護工	植生マット工	21.5
構造物取壊工	構造物取壊し	-



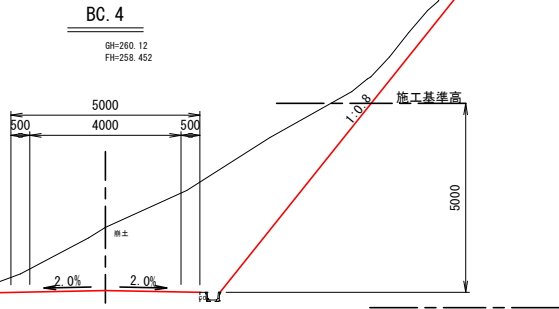
NO. 7

工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	1.3
	掘削工(地山)	-
	人カ形用バックホウ掘削(ルーズ)	-
	人カ形用バックホウ掘削(地山)	-
	路床盛土	-
	路体盛土	-
	床掘(地山)	-
	埋戻し	-
	切土法面整形	4.5
	人カ切土法面整形	-
擁壁工	補強土盛土	-
法面保護工	植生マット工	4.5
構造物取壊工	構造物取壊し	-



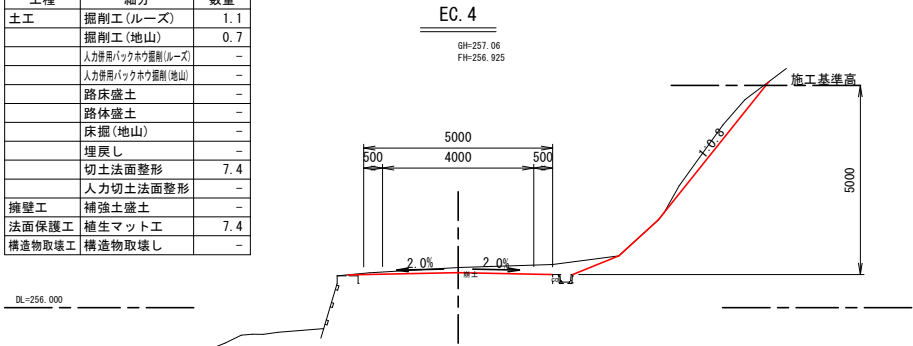
BC. 4

工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	17.6
	掘削工(地山)	-
	人カ形用バックホウ掘削(ルーズ)	2.1
	人カ形用バックホウ掘削(地山)	4.6
	路床盛土	-
	路体盛土	-
	床掘(地山)	-
	埋戻し	-
	切土法面整形	6.4
	人カ切土法面整形	22.1
擁壁工	補強土盛土	-
法面保護工	植生マット工	28.5
構造物取壊工	構造物取壊し	-



EC. 4

工種	細分	数量
土工	掘削工(ルーズ)	1.1
	掘削工(地山)	0.7
	人カ形用バックホウ掘削(ルーズ)	-
	人カ形用バックホウ掘削(地山)	-
	路床盛土	-
	路体盛土	-
	床掘(地山)	-
	埋戻し	-
	切土法面整形	7.4
	人カ切土法面整形	-
擁壁工	補強土盛土	-
法面保護工	植生マット工	7.4
構造物取壊工	構造物取壊し	-



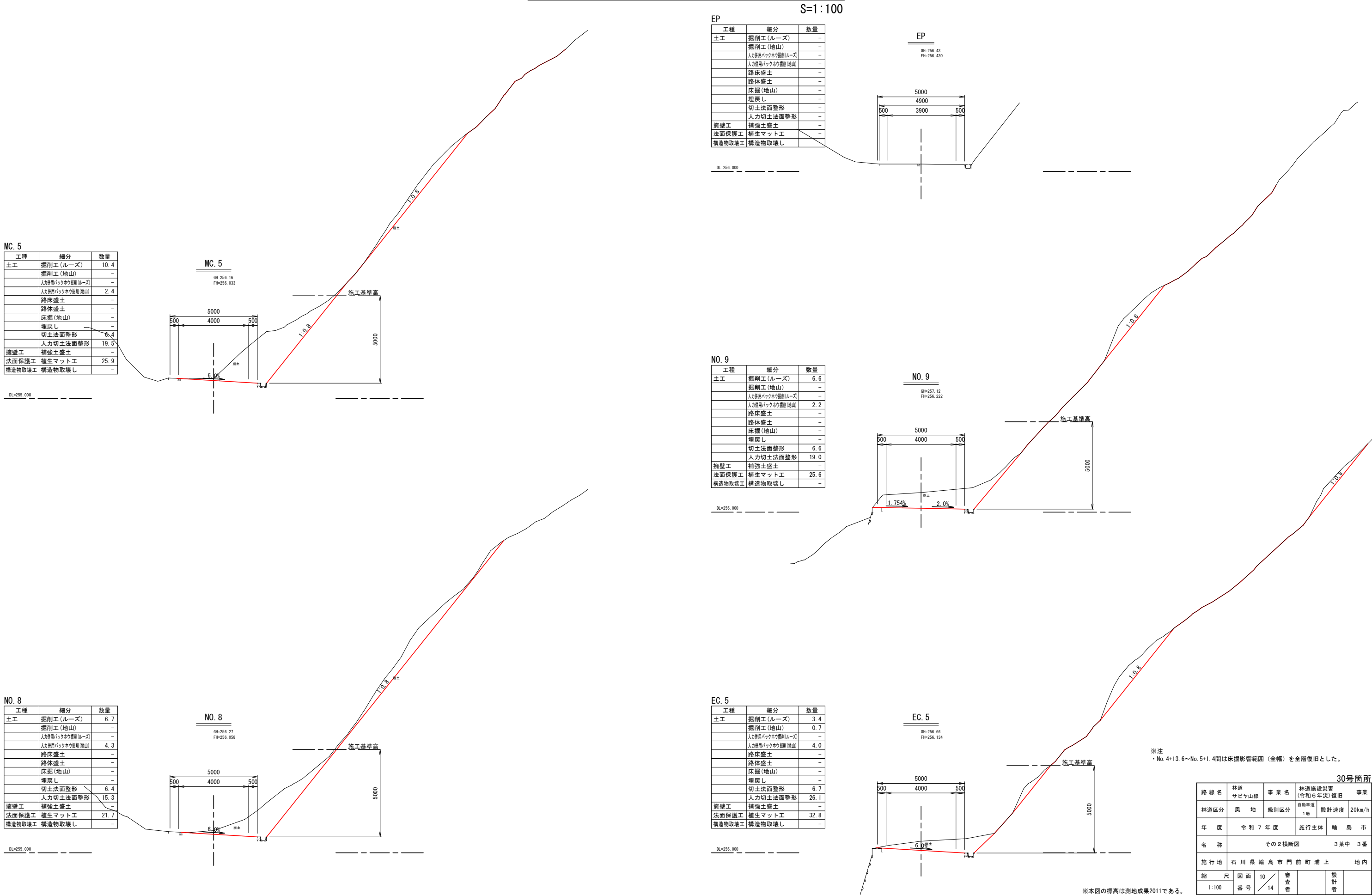
※注
・No. 4+13.6~No. 5+1.4間は床掘影響範囲(全幅)を全層復旧とした。

30号箇所

路線名	林道 サビヤ山線	事業名	林道施設災害 (令和6年災)復旧	事業	自動車道 1線
林道区分	奥地	級別区分	設計速度	20km/h	
年度	令和7年度	施行主体	輪島市		
名称	その2横断図 3葉中 2番				
施行地	石川県輪島市門前町浦上	地内			
縮尺	1:100	図面番号	9/14	審査者	設計者

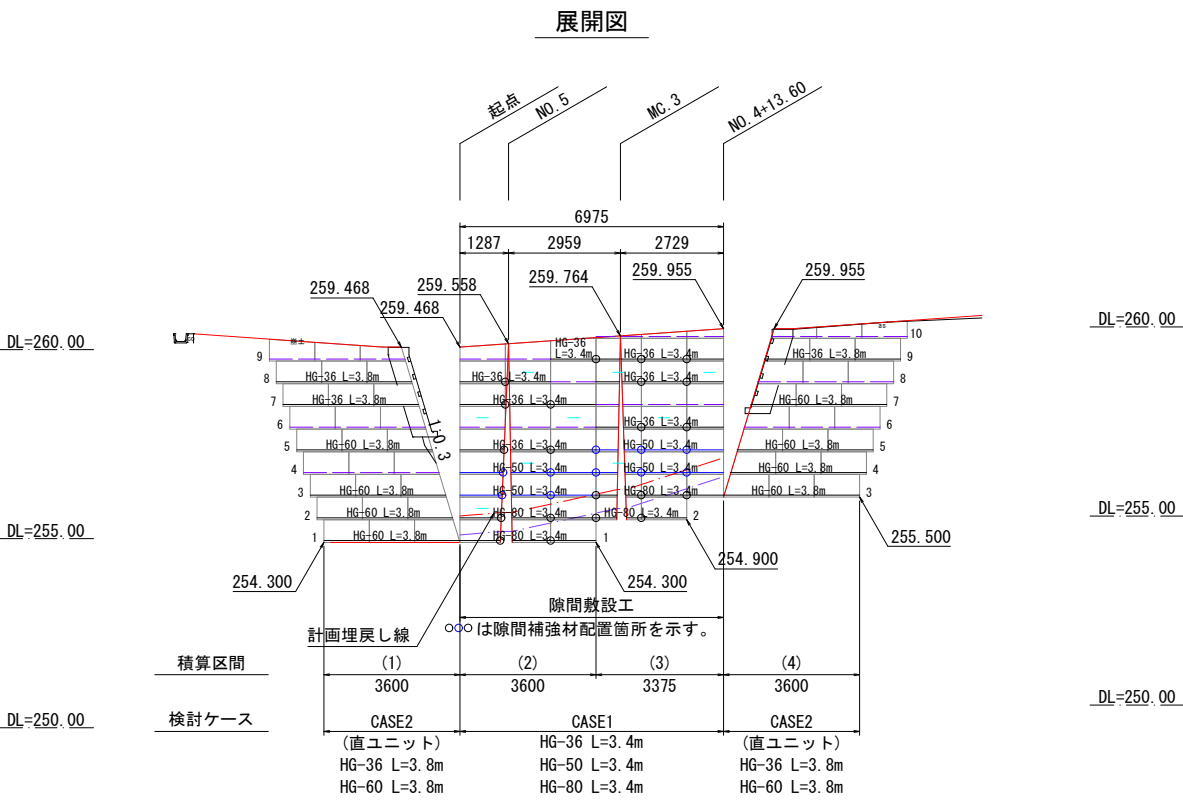
※本図の標高は測地成果2011である。

その2横断図(3/3)

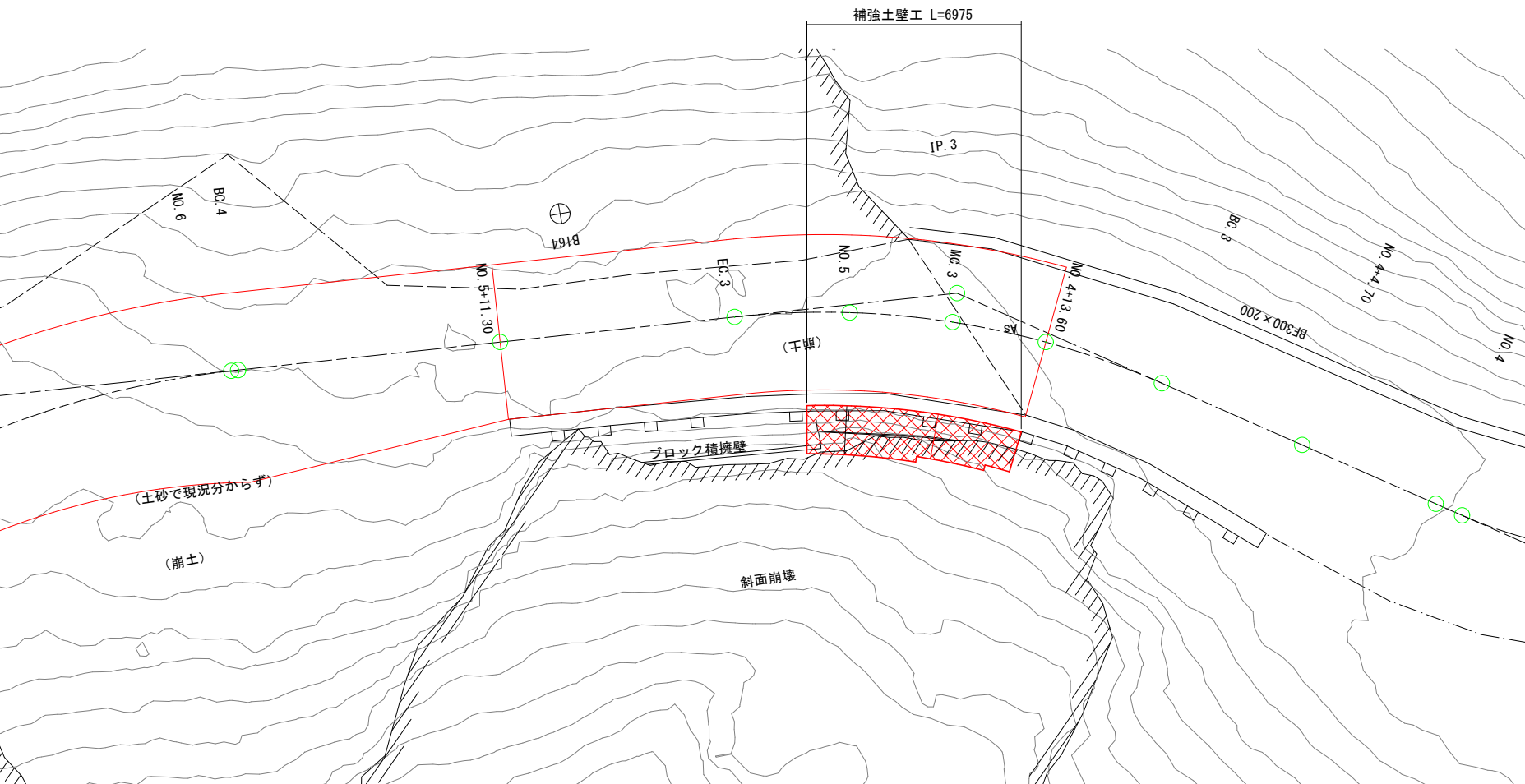


その2補強土壁工構造図(1/2)

S=1:100

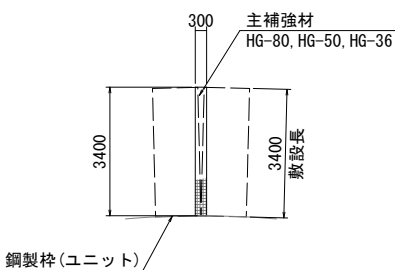


平面図



材 料 表						
凡 例	名 称	規格寸法	単位	材 質	寸法・形状	特 記 事 項
	主補強材	HG-36	m ²	芯材：アラミド繊維 表面材：高密度ポリエチレン	部材詳細図参照	伸度4.5%
		HG-50	m ²			
		HG-60	m ²			
		HG-80	m ²			
	壁面強化材	UC-20	m ²			
	鋼製枠(ユニット)	UC-60P	set		部材詳細図参照	
	水平排水材	R-7×300C	m		W=300	

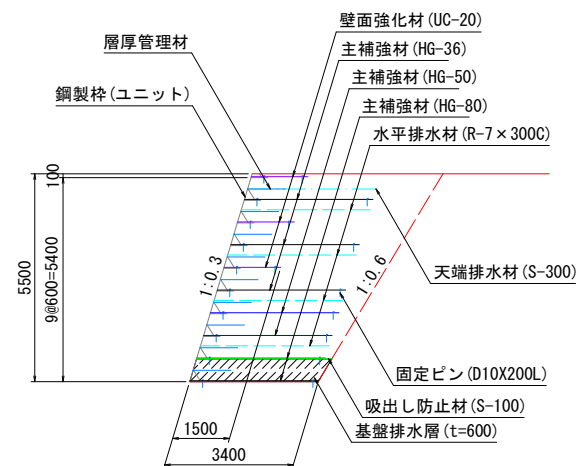
隙間敷設工部 敷設平面図
NO. 5～NO. 4+13.60



30号箇所						
路線名	林道 サビヤ山線	事業名	林道施設災害 (令和6年災)復旧	事業		
林道区分	奥 地	級別区分	自動車道 1級	設計速度	20km/h	
年 度	令 和 7 年 度	施行主体	輪 島 市			
名 称	その2補強土壁工構造図 2葉中 1番					
施行地	石 川 県 輪 島 市 門 前 町 浦 上	地内				
縮 尺	図 面	11	審 査	設 計		
1:100	番 号	14	者	者		

S=1 : 100

CASE 1



壁面強化材 (UC-20)

主補強材 (HG-36)

主補強材 (HG-60)

層厚管理材

鋼製棒(ユニット)

5400

9@600=5400

1:0.0

1500

3800

盛土材定数	$\gamma=19.0\text{ kN/m}^3 \quad \phi=30^\circ \quad C=0.0\text{ kN/m}^2$	
載 荷 重	活荷重 $q = 10\text{ kN/m}^2$	
設計水平震度	-	
円弧すべりに対する安全率	常 時	-
	$F_s \geq 1.20$	-
引き抜きに対する安全率	$F_s \geq 2.00$	-
転倒に対しての安全率	$e \leq L/6$	-
滑動に対しての安全率	$F_s \geq 1.50$	-
支持に対しての安全率	$F_s \geq 3.00$	-

タイプ	検討高	単位	常 時	地 震 時	摘 要
CASE1	H=5.5m	kN/m ²	121.271	-	盛土直下
CASE3	H=5.4m	kN/m ²	113.429	-	盛土直下

補強土壁工	面状補強材（ジオテキスタイル）を層状に敷設し、補強材の引張力と土との摩擦抵抗力によってせん断強さを補強し、安定した盛土構造物を構築する			
盛土材料	土質条件	単位体積重量 $\gamma = 19.0 \text{ kN/m}^3$	粘着力 $c = 0.0 \text{ kN/m}^2$	せん断抵抗角 $\phi = 30.0^\circ$
	・施工前に盛土材の土質試験を実施し、設計定数を確認する ・発注機関の定める規定値に従い、締固め管理を行う ・盛土材料は適切な含水比とする ・設計段階では現地発生土を流用しているが、土質条件に沿わない場合は発注者と協議のうえ対応を検討すること			
基礎地盤	・良好な地盤又は適切な処置が施された地盤とする ・床掘り完了後に所定の支持力を満足するか確認する			
排水工	・適切な排水処理を施す ・予期せぬ湧水が確認された場合は速やかに排水対策を行う ・施工中は仮排水工を設けるなどして、盛土本体や壁面部へ水を導かないよう排水処理を行う ・補強土壁の底盤は排水対策を施す			
壁面材	・鋼製壁面材は、盛土材を拘束し所定の締固め度が得られる十分な剛性（断面係数：0.8cm ³ /m以上）を有すること ・壁面材の座屈や回転等を防止するため、斜体部材、横方向部材および回転防止部材を用いた構造とする			
補強材	・主補強材は（財）土庫研究センターの建設技術審査証明報告書による製品とする ・主補強材は、4.5%程度の伸度で所定の引張強さを発現する面状の材料とする ・稜材等による主補強材の耐衝撃性は、90%以上の強度保持率を有する材料とする ・隣接する主補強材の敷設は、突合せを基本とする（ラップする必要はない） ・曲線部や折れ部において、隣接する主補強材間の隙間が10cm程度以上となった場合は、同質・同等の材料にて隙間を埋める			
安全管理	・労働安全衛生法および労働安全衛生規則などに遵守する			

Figure 1 illustrates the reinforcement structure of a retaining wall. The diagram shows a cross-section of the wall with various reinforcement layers. Labels include: 横方向連結部材 (Horizontal connection material), 鋼製壁面材 (Steel wall material), 斜体部材 (Inclined body material), 補強拘束ネット付植生シート (Reinforcement restraint net with vegetation sheet), 層厚管理材 (Layer thickness management material), 主補強材 (Main reinforcement material), 水平排水材 (Horizontal drainage material), 壁面強化材 (Wall reinforcement material), 連結金具 (Connection fitting), and 固定ピン (Fixed pin). A slope ratio of 1:n is indicated.

横方向連結部材

鋼製壁面材

斜体部材

水平排水材

桶強拘束ネット付植生シート

主補強材

壁面強化材

層厚管理材

連結金具

固定ピン

600

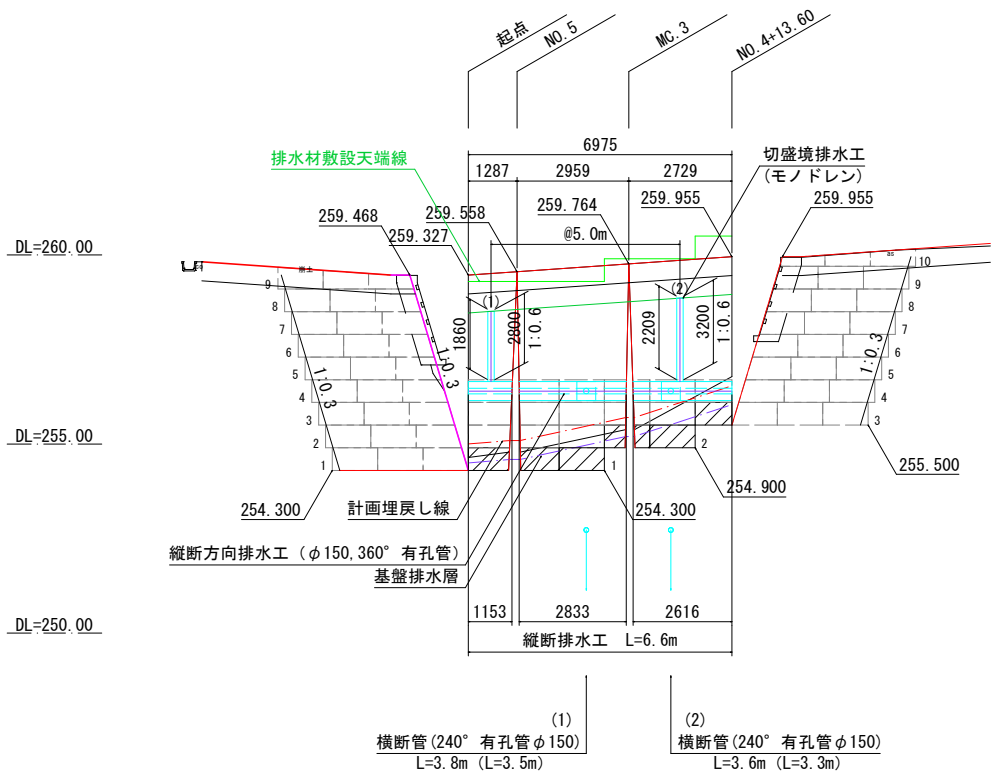
1200

30号箇所									
路線名	林道 サビヤ山線		事業名	林道施設災害 (令和6年災)復旧		事業			
林道区分	奥地		級別区分	自動車道 1級	設計速度	20km/h			
年度	令和7年度				施行主体		輪島市		
名称	その2補強土壁工構造図						2葉中 2番		
施行地	石川県輪島市門前町浦上 地内								
縮尺	図面 1:100		12 / 番号	審 査 者			設計 者		
			14						

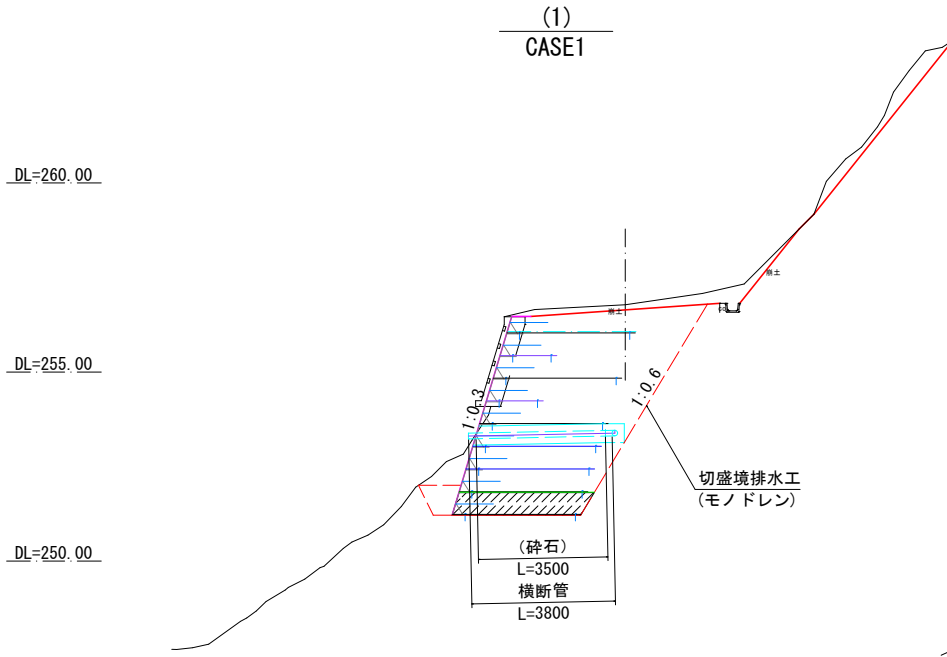
その2補強土壁工排水計画図(1/1)

S=1:100

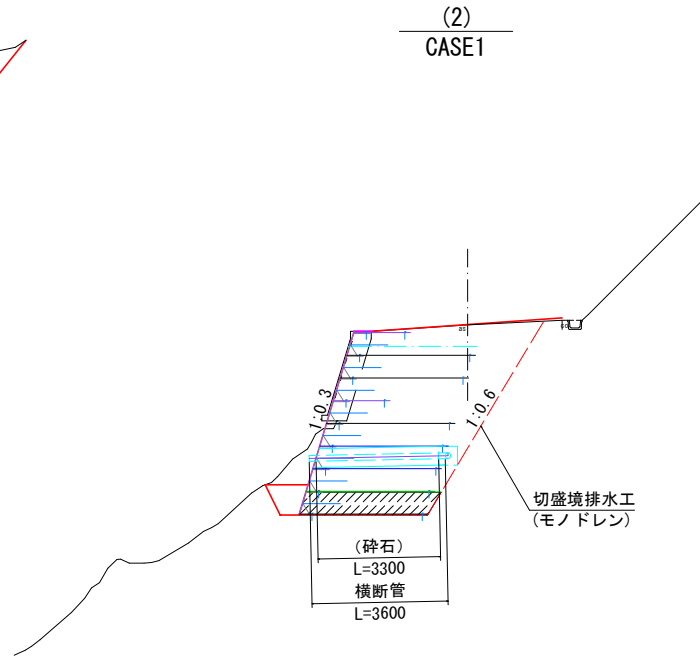
正面図



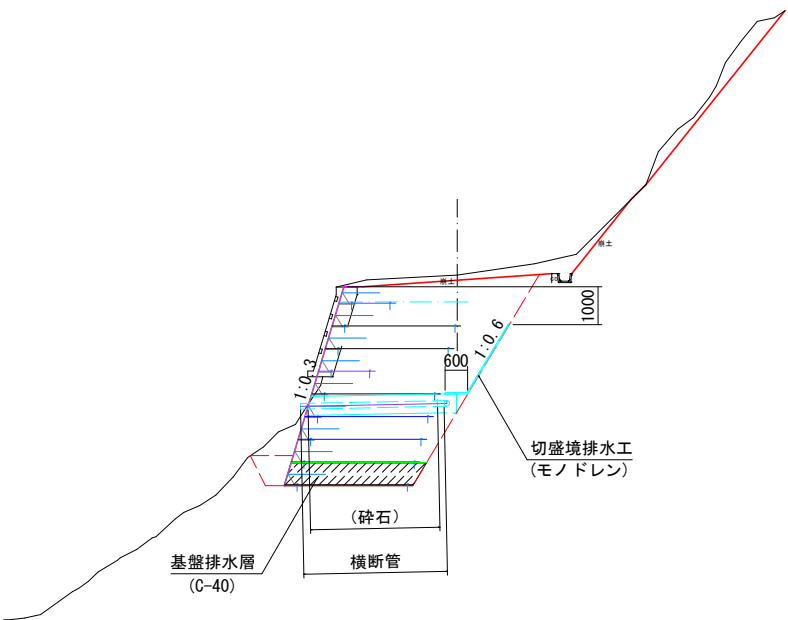
(1)
CASE1



(2)
CASE1

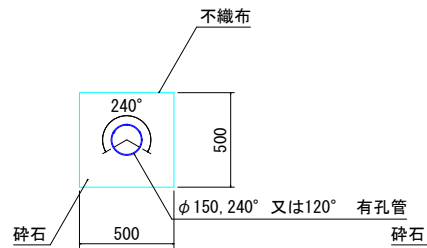


標準断面図

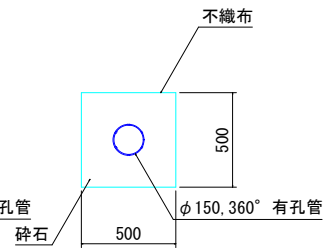


排水工詳細図

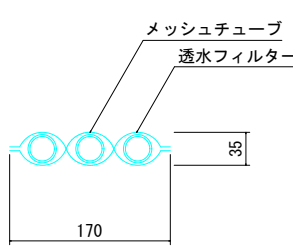
横断方向排水工 S=1:20



縦断方向排水工 S=1:20



切盛境排水工 S=1:4
(モノドレンM-3)



地下排水工数量表

工種	種別	規格寸法	単位
切盛境排水	パイプ状排水材	t35×W170mm	m
縦断・横断 方向排水	有孔管 (縦断管)	φ=150 360° 有孔	m
	有孔管 (横断管)	φ=150 240° 又は120° 有孔	m
	不織布		m ²
	砕石		m ³

t: 厚み (mm), φ: 直径 (mm), W: 幅 (mm)

特記事項

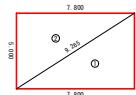
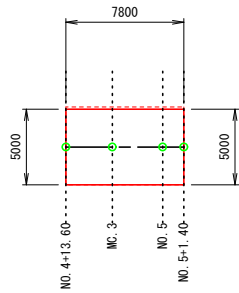
- は、縦断管勾配方向を、
は、横断管排出位置を示す
- 補強土壁の最深部には、横断方向排水工を2箇所設置する
- 切盛境には排水材 (モノドレン) を5m間隔で設置する
- 切盛境排水工の設置間隔は 5mとするが、地山の湧水状況に応じて決定する
- 補強土壁天端には盛土内への水の浸入を防ぐためのシーリングコンクリートや排水溝を設ける

30号箇所

路線名	林道 サビヤ山線	事業名	林道施設災害 (令和6年災) 復旧	事業	自動車道 1線
林道区分	奥地	級別区分	設計速度	20km/h	
年度	令和7年度	施行主体	輪島市		
名称	その2補強土壁工排水計画図 1葉中 1番				
施行地	石川県輪島市門前町浦上	地内			
縮尺	1:100	図面番号	13 / 14	審査者	設計者

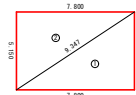
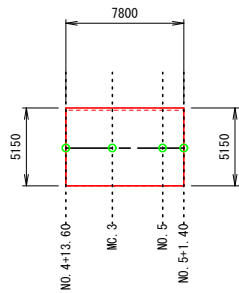
その2舗装工展開図(1/1)

表層工
30号箇所その2



符号	辺A(下底)	辺B(高さ)	辺C(上底)	角度	ヘロン面積
1	5.000	9.265	7.800	-	19.5000000
2	7.800	5.000	9.265	-	19.5000000
合計面積 (m2)					39.0000000

上層路盤工・下層路盤工
30号箇所その2



符号	辺A(下底)	辺B(高さ)	辺C(上底)	角度	ヘロン面積
1	9.347	7.800	5.150	-	20.0850000
2	9.347	7.800	5.150	-	20.0850000
合計面積 (m2)					40.1700000

30号箇所

路線名	林道 サビヤ山線	事業名	林道施設災害 (令和6年度)復旧	事業	事業
林道区分	奥地	級別区分	自動車道 1級	設計速度	20km/h
年度	令和7年度	施行主体	輪島市		
名称	その2舗装工展開図 1葉中 1番				
施行地	石川県輪島市門前町浦上 地内				
縮尺	1:250	図面番号	14 / 14	審査者	設計者